※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和５年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「科学と人間生活」　（第一学習社）						
副教材等	ネオパルノート　科学と人間生活　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科は高校から物理・科学・生物・地学と４種類の分野へ分岐していきます。その前段階としてそれらすべての入門を扱います。身近な自然現象や社会の中で利用されている科学技術などを取り上げる中で科学と人間生活のかかわりについて認識を高めます。

２　学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、科学的な見方や考え方を通して思考・観察・表現する資質・能力を次の通り育成することをめざす。

（１）科学の原理や法則が科学技術として日常生活や社会の中でどのように利用され，結び付いているか理解を深める。

（２）自然や科学技術に関する身近な具体例について，観察，実験などを通して学ぶことにより，科学的なものの見方や考え方をできるようにする。

（３）科学の成果や果たしてきた役割、科学の有用性を認識し、将来にわたって自然や科学技術に対する興味・関心をもち続けることができるようにする

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身近な自然現象や科学技術について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	人間生活の中の科学やこれからの科学と人間生活のかかわりに問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら科学技術の発展や人間生活の中の科学について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けて活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	材料とその利用	プラスチックの特徴 プラスチックの分類と用途 金属と人間生活 資源の再利用	a:　材料に関する知識を身に付けている。 b:さまざまな材料の利用方法を考察することができる。 c:　材料に関心を持ち意欲的に探求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
	ヒトの生命現象	たんぱく質の働きと構造 遺伝子とDNA 病原体の排除 ヒトの視覚	a:タンパク質の体内での働きについて知識を身に付けている。 b:遺伝子とタンパク質の関係について説明できる。 c:動物の生体反応について意欲的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
2学期	微生物とその利用	微生物の発見 微生物の利用 食品と微生物 医薬品と微生物	a:微生物の働きについて知識を身に付けている。 b:微生物がどのように見出されてきたか考察できる。 c:微生物利用の可能性について意欲的に探求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
	熱の性質とその利用	温度と熱運動 熱容量と比熱 仕事や電流と熱の発生 エネルギー資源の有効活用	a:熱や温度について知識を身に付けている。 b:物理における仕事を説明できる。 c:エネルギー資源を活用するための方法を考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
3学期	自然景観と自然災害	日本列島の成り立ち 火山災害と防災 地震災害と防災 気象災害と防災	a:日本の景観の形成について知識を身に付けている。 b:日本における災害につて考察できる。 c:自らの地域の災害について調べようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
	太陽と地球	太陽と太陽系 太陽系を構成する天体 太陽と人間生活 太陽と月の動き	a:太陽系の天体について知識を身に付けている。 b:太陽や月の運動を説明できる。 c:　太陽がヒトに及ぼす影響を考えることできる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度